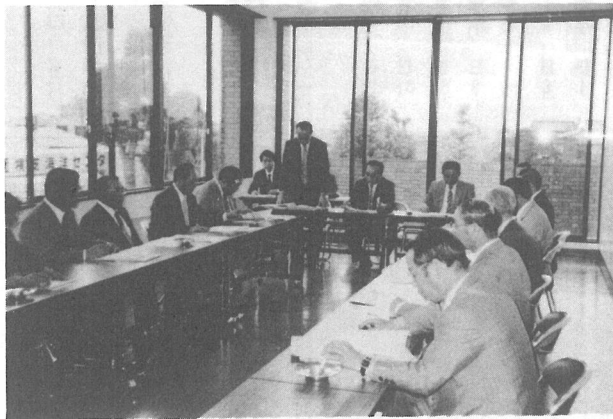


成田空港騒音区域 Bランは対象区域外に



空港公団を招いて開催した部会

騒音対策部会で公団が見解

開港7周年を迎えた成田空港では、二期工事への動きが活発化してきました。

Bランが供用開始されますと、全町が飛行下となるため、私たちの関心は多大です。

そこで、先般開かれた騒音対策委員会横芝松尾・蓮沼部会での、空港公団とのやりとりの中から、関係部分をひろってご紹介します。

二期工事には意欲

◇空港の現状は—

59年度の旅客数は一日約三万一千人、飛行便数で二〇六便となっており、ピーク時には大混雑の状態である。

このままでは、62、63年頃には限界に達し、飽和状態となる恐れがある。

◇二期工時はどうなる—

即刻着手しなくては間に合わない状態だが、用地の未買収があるので目下これに全力をあげている。

着工に際しては、空港内外の警備・警護の万全が絶対要件となるが、できうる限り早い機会に着手したい。

◇Bランの騒音コンターは

民家防止工事の対象区域となる騒音区域の指定は、供用開始時の予測コンターを基とするので、騒音度も現在より相当小さくなる見込みであり、従って騒音区域が横芝町にまで及ぶことはないものと思える。

(七月一日の告示では、横芝区域より一・五キロ以上北側(芝山町側)で線が引かれた。

◇A・Bランの使用区分は—
全体で一日四一〇便程度とな

航空機発着回数

るが、現在のAランに六割、Bランに四割の比率で離発着させる計画である。

また、長距離便はAランを、短距離便はBランを主として使用する計画であり、飛行方法もAラン同様に直進上昇の方式をとる予定である。

年度	5	6	7 (万人)
53 (5/21~)	✕✕✕✕✕	✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕	54,797
54	✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕	✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕	65,926
55	✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕	✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕	65,018
56	✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕	✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕	63,704
57	✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕	✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕	64,619
58	✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕	✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕	68,680
59	✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕	✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕	74,535

航空旅客数

年度	700	800	900	1,000	1,100 (万人)
53 (5/21~)	人	人	人	人	6,391,369
54	人	人	人	人	8,156,770
55	人	人	人	人	8,205,179
56	人	人	人	人	8,636,270
57	人	人	人	人	9,151,385
58	人	人	人	人	9,949,137
59	人	人	人	人	11,006,725

騒音区域とは

空港公団では、航空機騒音の著しい地区を「騒音区域」として指定し、その度合いに応じて住宅の移転や防音工事等を実施しています。

Aランにおける住宅防音工事の対象となる第一種騒音区域には、中台・遠山・姥山と牛熊・長倉の一部が編入されています。